



★9/10（木）第1回『藤工 BLAZE for our well-being!』講演会★

『藤工 BLAZE! ～自ら考え、判断し、行動するために、 知っておきたい非認知能力と Agency～』

今年度、本校が掲げる『藤工 BLAZE for our well-being!』の最上位目標は、『自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成』です！そのために、自ら未来を切り拓いていく『Agency』と、困難や失敗に直面しても、そこから立ち直り、しなやかに前へ進んでいく『Resilience』を発揮しながら、『自分だけではなく、自分の周りにいる人々のしあわせ』にもつながる行動ができる人になってほしいと考えています。

その実現のために、中山芳一先生の『非認知能力』のお話は、生徒にとっても、私たち教職員にとっても、大変有意義なものだったと思います（講演内容は、生徒の感想文を読むとわかりますので、省略いたします）。

また、今回の BLAZE 講演会では、運営の一部を生徒会のメンバーたちに任せました。それぞれの持ち場で、『自ら考え、判断し、行動する』ことに挑戦してもらいました。当然、『うまくいったこと』もあれば、『うまくいかなかったこと』もあります。でも、それでいいのです！

大切なのは、そこから何を学ぶかです。中山先生がおっしゃっていたように、自分たちの行動をしっかりと『振り返り』、『次はこうしたい!』と考え、次の行動につなげていく。その積み重ねが、『改善』『向上』、そして『成長』につながっていきます。

講演会では、質問もなかなか止まりませんでしたね（笑）！これはとても良いことです。中山先生のお話を『自分事』として捉え、『もっと知りたい』『もっと理解したい』と思えば、自然と質問が生まれます。

当日は、保護者の皆様をはじめ、外部の教育関係者や企業の方々など、約 30 名の皆様にもご参加いただきました。そして、多くの方が、藤工生の積極的な姿に驚いていました！私は、そんな皆さんの姿をとてもうれしく、そして頼もしく思いました。

生徒の皆さんには、中山先生から学んだことを『おもしろかった』『いい話だった』で終わらせるのではなく、ぜひ実生活の中で『実践』してほしいと思います。

一人一人が自分の行動に『責任』をもち、『自ら考え、判断し、行動する』。そして、行動したら『振り返り』、また次の行動へつなげる。それを日々繰り返し、自分自身の中にしっかりと浸透させていってください。

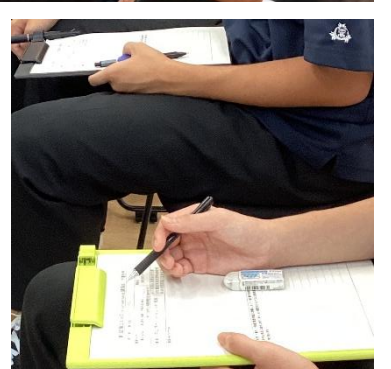
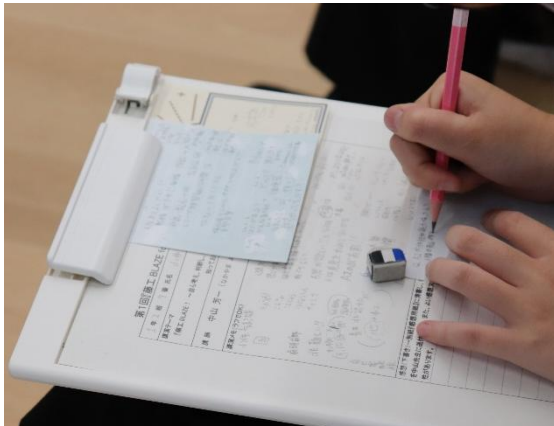
後半には、生徒の皆さんの感想文を掲載しました。一つ一つ読ませてもらいましたが、単に講演を『聞いた』のではなく、中山先生のお話を自分自身の生活や経験と結び付け、『自分事』として捉え、『自分のもの』にしようとしている藤工生の理解力と感性に、私自身が驚かされました！みなさんもぜひ、藤工生の感想文を読んでみてください。仲間が何を感じ、何を考えたのかに触れることで、自分自身の学びをもう一度振り返り、整理するきっかけになるはずです。

そして、次回の中山先生の講演会は 12 月です！それまでの間に、今回学んだことを一つでも『実践』してみてください。実践すれば、きつとうまくいかないことや、新たな疑問も出てくるはずです。そして 12 月に、『もっと聞きたい!』『今度はこれを質問したい!』という状態で中山先生のお話を聞くことができれば、今回よりさらに学びが深まると思います。引き続き、『藤工 BLAZE!』していきましょう！

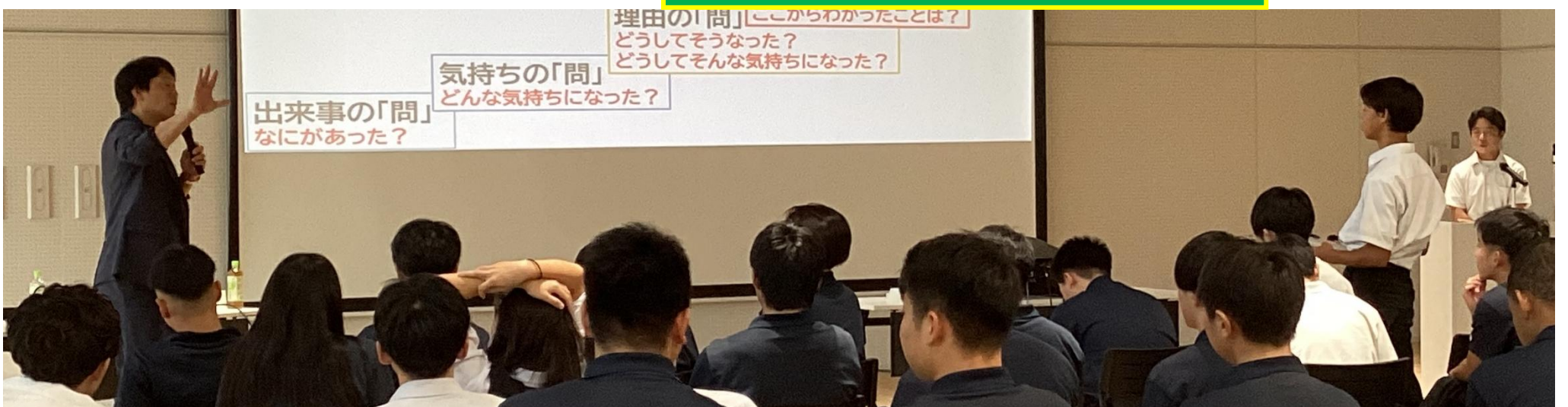
生徒が運営する BLAZE 講演会！



生徒が『自分事』として考える BLAZE 講演会！



白熱した意見交換の起こる BLAZE 講演会！



特に印象に残ったのは、非認知能力を漢字一文字で表すと「心」になるという考え方だ。自身を高めるための向上心や自信、元の自分にするための自制心、人と協力するためのコミュニケーション能力や共感性など、普段何気なく使っている力が非認知能力と知った。非認知能力を伸ばすためには自分なりの価値観を作ることが大切だと知り、今後は周囲の変化を意識しながら自分の考え方や価値観を大切にし、向上心や自制心、協調性を普段の生活や学校生活のなかで活用しながら行動していきたい。

3年M組 笠田 侑樹

今回の講演会を通して思ったこと、感じたことは、とにかく思い切りが大切だと感じました。講演会を受ける前は、しっかりと自分と向き合っていないなと感じたけど、この講演を受けて、これからはしっかりと自分の気持ちを考えたいと思いました。また、自分で評価をするのではなく、他者からの評価も大切だと思いました。評価されるのは相手からだけど振り返りは自分でするものなので、自分を高める力だけではなく、自分と向き合う力を特に高めていけるように努力します。今回の講演を通して、自分でも5つの問いを投げかけて、少しずつ振り返りのレベルアップ、スキルアップができるようにしたいと強く感じました。

3年M組 井野口 大真

「非認知能力」という言葉だけを理解することは難しかったけれど、「心」と同じように目に見えない「自信」や「コミュカ」などを社会では活用できるようにならないといけないなと思いました。人間関係や勉強面などでミスをしたときに、振り返ることが重要だと聞いて、私自身何ごとにも振り返ることがあまりなくて現状維持になってしまっているものが多いので、振り返りをしながら行動できるようになりたいです。今回の講演会で自分自身と向き合う大切な機会をいただき、足りているもの、足りていないものがわかってよかったです。

3年L組 國友 祐汰

私は講演会を通して、非認知能力の奥深さと、そのバランスの重要性を学びました。特に興味深かったのは、一つの能力を高めることで他の非認知能力への応用が効くという点です。自分を高めようとする力が強くなれば些細なストレスに対する忍耐力も身につきます。しかし、その強い気持ちが突出しすぎると周囲との温度差を生み、マイナスに働いてしまうこともあり得ます。そこで、日々の生活や学校生活、勉強においても今、自分がどのような状態にあるのかを客観的にモニタリングをし、何が起きたか、どう思ったか、なぜ起きたか、今後どうしたいかを適切に振り返る時間を持つことで、これらの能力を正しくコントロールしていきたいです。

3年L組 金井 裕喜

今回は楽しい、面白い講演をしていただき、ありがとうございました。僕は友達と大ゲンカをして自分と向き合うことでケンカの原因を探し、結果的に友達と仲直りをすることができました。そのおかげで、あまり話したことのない友達ともすごく仲良くなることができましたので、他者とつながる力も育てられたと感じています。また、変化の波が激しいなら、その波に乗ればよいという言葉がすごく響きました。しっかり自分の行動や発言を振り返って成長していきたいと思います。

3年E組 山本 敦己

非認知能力は認知能力と違い、目に見えにくいため、自分の現状にどう落とし込んでいくのか、とても悩みました。私は自分を証明するもの、これからの社会で必要なものは資格だと思い、国家資格を複数取得してきました。そう考えると資格を取得したいと泥臭く努力し続けた自分自身の「執念」や「自制心」といった目に見えない力こそが非認知能力なのではないか？と客観視することができました。自分のなかでは認知能力と非認知能力はそれぞれ別の枠組みに属するものだと思っていたので、このように表裏一体の関係にあることに気づき、自分の取得してきた資格は、非認知能力に支えられていたのだと納得しました。

3年E組 宮下 実龍

生徒の感想文その2(それぞれ一部抜粋！)・・・中山芳一先生のお話は、藤工生の『心』に深く深く刻まれております！

今回の講演会では、校長先生がよく言っていた「非認知能力」についていろいろ知ることができました。まず、認知能力にはハッキリとしたゴールや目標があるのに対し、非認知能力はない、または、人によって異なっているということとを改めて考えさせられました。また、非認知能力は認知能力のようにすべて高ければ良いという訳ではないんだなと思いました。1日1日の振り返りで、気持ちの問い、理由の問い、教訓の問い、転移の問いを心がけ、生活に活かしたいと思っています。次回の講演を楽しみに待っています。

2年M組 大野 蒼悟

今回の講演会で、私は振り返りの深みを改めて理解できました。感じたことに「何故」と疑問を持ち、反省すること。そして、その反省を様々なことに転移させ、日々、自分をレベルアップさせることが最も大事なことだとわかりました。そこで自分なりに振り返りを身近な当たり前の習慣に私はしたいと思い、「日記」をつけようと考えました。今回感じたことは、反省などを様々なことに転移、発展させることができるという考え方を忘れないようにして、今後もしろんなことを知って、考えて、理解するだけで終わらないようにしていきたいです。

2年M組 後藤 晴人

中山先生の講演は、生徒だけでなく教師陣も巻き込んでの問いかけなどがあり、とても新鮮だなと思いました。僕は振り返りのレベルを上げるという話が、論理的思考の重要性を強く感じたため、一番印象に残っています。VUCA時代は、著しい技術の進歩、目まぐるしい世の中の変化によって理想と現実の明確な差が生まれ、もはや理想の入る余地がないのではないか、その変化の波に僕はすでに吞まれて溺れているのではないかと思いました。これからの人生、見えないことだらけの世界をどう生きていくのか考え続けていけるよう、認知能力と非認知能力を高めて行きたいです。

2年E組 阿部 隼大

中山先生の講演を聞いて感動しました。認知能力は満点に近い方がいいですが、非認知能力、つまり心には満点がなく、プラスにもマイナスにもなるのです。今の時代は変化の波が激しく大変ですが、サーファーになることで変化の波に乗ることで生き残っていくことが大切だとわかりました。また、非認知能力は行動で評価することができ、意識で行動を変え、習慣を変えていくことが大切だとわかりました。今はAIが主流ですが、AIとパートナーになることが大事で、AIのできない「感情」を自分たちで補って行くことが大事だと知りました。

2年E組 田島 明将

自分から行動することで、非認知能力を上げることができると知り、自分から行動することを増やそうと思いました。また、周りと比べるのではなく、自分自身が以前より、どのように成長したかを考えることも大切だと思いました。今日の講演会で学んだことを生かして、失敗を恐れずに新しいことにも挑戦し、自分で考えて行動できる人になりたいと思いました。

1年1組 黒沢 良真

特に印象に残ったところは、振り返りのレベルを上げるためにも、失敗にビビらず、たくさん失敗してよいし、どんどん挑戦することが大切という話が印象に残りました。自分は振り返りが得意ではないので、今回をきっかけに、振り返りのレベルを上げるために努力しようと思えるようになりました。

1年1組 佐藤 海星

特に印象に残ったのは、AIはたくさんの「情報」を持っているけど、人間には「感情」があるという話です。これからAIが発達していても、人間だからこそできることがあるんだと感じました。また、今は変化が多く、先のことがわかりにくい時代だからこそ、失敗を恐れずに挑戦することが大切だと思いました。失敗して終わりにするのではなく、そこから学んで次につなげていくことを意識したいです。

1年2組 大澤 つぐみ

中山先生に講演していただき、非認知能力は行動に現れ、行動で評価されるんだなとわかりました。また、非認知能力は数値で表すことができないので、行動で他人にわからせることが大事ということです。認知能力は大事だけど、非認知能力も大切なことだと思いました。自分も12月の講演会までに、非認知能力を一つでも向上させられるように努力していきたいと思います。

1年2組 山上 瞬